

1. 調査目的

この調査は、市民の皆様には水道の利用状況、ご意見、ご要望等をお伺いし、今後の水道事業を一層充実させていくための基礎資料とすることを目的に実施しました。

2. 調査概要

- 調査項目 水道事業に関する設問 全23問
 - 調査地域 周南市内
 - 調査対象 周南市に居住する18歳以上の方3,000人
 - 抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出
 - 調査方法 郵便による送付・回収
 - 調査期間 到着日 から 令和2年11月30日(月)まで
 - 有効回答数 1,431通
 - 回収率 47.8% (1,431通/2,995通×100)
- ※総数3,000通の内5通は無効となりましたので、有効総数は2,995通として集計します。

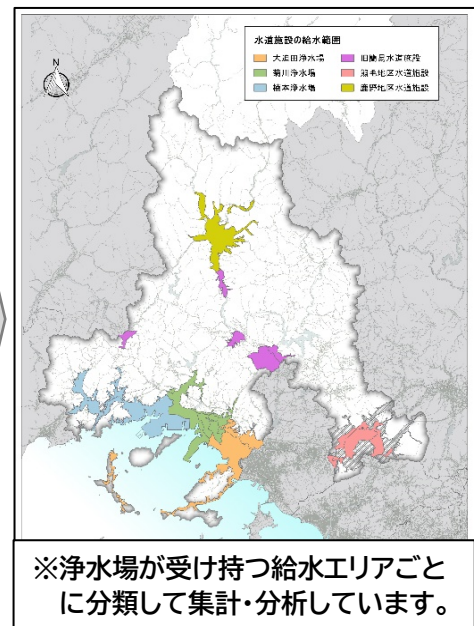
3. 分析方針

調査結果では、次の項目について結果を記載しました。

- 単純集計 各設問項目ごとに回答合計数と割合を算出した集計結果
- 属性別集計 設問の性質に応じた属性ごと(年齢別や地域別など)の集計結果
- 施設別集計 設問の性質に応じた浄水場ごと(以下の分類のとおり)の集計結果

(集計上の分類一覧)

施設区分	小学校区
大迫田浄水場	遠石・周陽・秋月・桜木・久米・櫛浜・鼓南・大津島
菊川浄水場	徳山・今宿・岐山・菊川・富田東
楠本浄水場	夜市・戸田・湯野・富田西・福川・福川南
旧簡易水道施設	須磨・沼城・和田
熊毛地区水道施設	三丘・高水・大河内・勝間
鹿野地区水道施設	鹿野



- その他の集計 回答内容によって直前の設問と合わせて結果を見る必要がある場合には、回答内容による結果の集計を実施
- 経年比較 過去の調査において類似の設問・選択肢がある場合には、経年による比較を実施

4. 報告書の見方

- 集計は小数点以下第2位を四捨五入しています。従って、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。
- 2つ以上の回答を可能とした設問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合があります。
- 報告書中の図表では、回答選択肢を短く表示している場合があります。
- 「3.分析方針」に基づいて分析を行った結果については、報告書中で下記のとおり表記を行っています。

【単純集計】 …… 回答合計数と割合を掲載

【属性集計】 …… 属性ごと(年齢別や地域別など)の集計結果のグラフを掲載

【施設別集計】 …… 浄水場ごとの集計結果のグラフを掲載

【その他の集計】 …… 直前の設問との比較集計のグラフを掲載

【経年比較】 …… 過去の調査との比較集計のグラフを掲載

- この調査は標本調査※であるため、周南市民の意見を推測する場合、誤差を伴います。次の式から誤差を求めることができます。

※標本調査:母集団(調査地域の人口)全てを対象として調査する「全数調査」が不可能な場合、母集団から対象を選び出して調べ、その情報を基に母集団の性質を統計学的に推測する方法。

標本誤差算出式

$$\text{誤差率} = 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p \times (1-p)}{n}}$$

N = 母集団 (調査地域の人口)

n = 回答者数

p = 回答の比率 (0 ≤ p ≤ 1)

標本誤差早見表

回答比率 (p) 基数	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,500	± 1.52	± 2.02	± 2.32	± 2.48	± 2.53
1,431	± 1.55	± 2.07	± 2.37	± 2.54	± 2.59
1,200	± 1.70	± 2.26	± 2.59	± 2.77	± 2.83
1,000	± 1.86	± 2.48	± 2.84	± 3.04	± 3.10
500	± 2.63	± 3.51	± 4.02	± 4.29	± 4.38
200	± 4.16	± 5.54	± 6.35	± 6.79	± 6.93
100	± 5.88	± 7.84	± 8.98	± 9.60	± 9.80

※ (N-n) / (N-1) ≒ 1 として算出

例えば、「水道水の安全性についてどのように感じていますか」という質問に対して、「どちらかといえば安心」と答えた人が50%いたとします。

回答者が1,431人、回答率が50%前後のとき標本誤差は、標本誤差早見表では±2.59%であるから、「どちらかといえば安心」と考える人は、市内水道利用者の47.41%から52.59%の間であると推測できます。

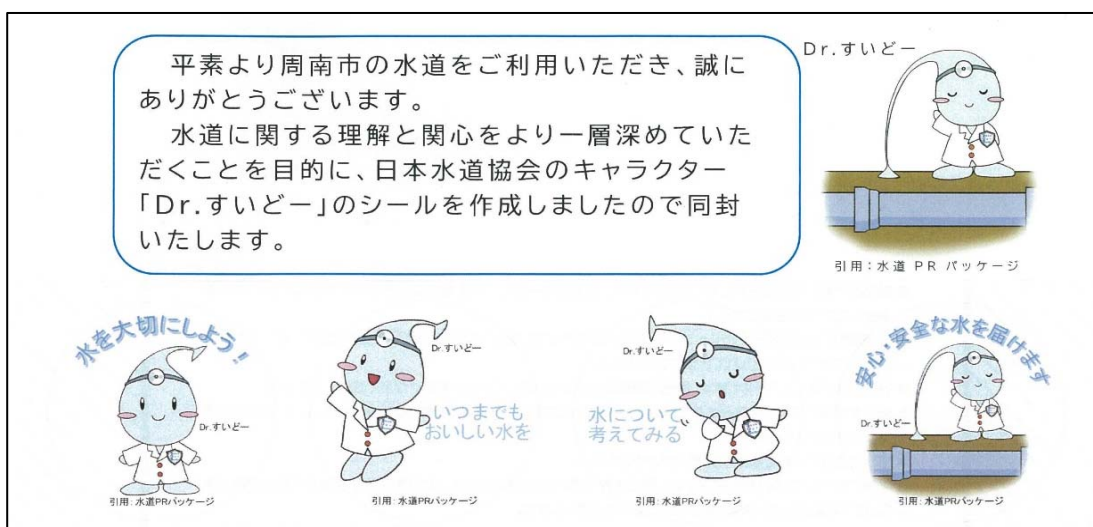
5. その他

● 広報用シールの配布について

水道に関する理解と関心をより一層深めていただくことを目的に、この度のアンケート調査の調査対象となった方に対し、調査票と同封して「広報用シール(下図参照)」を配布しています。

今後も水道に関する情報提供やイベント活動(浄水場見学)など、利用者の皆様に少しでも水道事業に興味を持っていただけるよう、PR活動、広報活動に努めてまいります。

【広報用シール】



※日本水道協会のキャラクター「Dr. すいどー」は、「水道耐震化推進プロジェクト「水道PRパッケージ」使用登録事務取扱基準」に基づき使用しています。